【参考資料２】第2期総合戦略（掲載事業）実績評価シート

| 事業識別CD | 基本目標 | 中項目 | 事業名 | 事業概要 | 所属CD | 所属 | 事業費（令和４年度）（千円） | 実績（令和４年度） | 取組内容（令和５年度） | 方向性（令和５年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 111 | ① | 1 | 企業立地奨励事業 | 市内において新たに事業所を設置する企業及び事業規模を拡大する企業の投資に対し、奨励金を交付する。 | AG11 | 産業労働課 | 922,019 | ・旧条例に基づく奨励制度の運用（支払い）<br>・新条例及び新要綱に基づく奨励制度の運用（対象事業者の決定、交付決定、支払い）<br>・カーボンニュートラル創エネ促進補助金の交付（対象事業者の決定、交付決定、支払い）<br>・省エネ設備導入支援補助金の交付（交付決定、支払い） | ・旧条例、新条例及び新要綱に基づく奨励制度の運用<br>・カーボンニュートラル創エネ促進補助金、省エネ設備導入支援補助金、カーボンニュートラル省エネ生産設備導入促進補助金の交付<br>・企業訪問等による制度PR | 拡大 |
| 112 | ① | 1 | 中小企業経営力高度化支援事業 | 新設する補助制度やセミナー、勉強会の開催により、市内中小企業・小規模事業者の人材育成・販路開拓など、経営力強化に資する取組を支援する。 | AG11 | 産業労働課 | 22,764 | ・中小企業経営力高度化事業補助金の交付<br>・事業承継支援<br>・経営研究会の実施<br>・カーボンニュートラル相談窓口の実施 | ・中小企業経営力高度化事業補助金の交付<br>・事業承継支援<br>・経営研究会の実施<br>・カーボンニュートラル取組促進の支援 | 継続 |
| 113 | ① | 1 | とよたイノベーションセンター運営事業 | コーディネーターによる技術・経営相談、新技術・新産業創出支援セミナー等の開催、製造技術力やIT活用などのものづくり人材育成事業を行う。 | AG12 | 次世代産業課 | 42,905 | ・技術・経営相談の実施<br>・イノベーションセミナーの開催<br>・製造技術者育成プログラム、デジタルものづくりカレッジの開催<br>・豊田市DX推進プラットフォームの運営 | ・技術・経営相談の実施<br>・イノベーションセミナーの開催<br>・製造技術者育成プログラム、デジタルものづくりカレッジの開催<br>・豊田市DX推進プラットフォームの運営 | 継続 |
| 114 | ① | 1 | DX促進事業 | 設備投資等への補助金、専門家の派遣、社内でデジタル化を推進できる人材を育成するための講座を実施し、デジタル化を促進する。 | AG11 | 産業労働課 | 277,645 | ・デジタル化支援補助金の交付<br>・テレワーク導入支援補助金の交付 | ・デジタルスキルアップ研修（求職者、在職者対象）<br>・デジタル化牽引人材育成事業<br>・メタバース活用企業PR事業<br>・DXモデル創出事業 | 拡大 |
| 121 | ① | 2 | オープンイノベーション推進事業 | 開放特許等の新たな資源とのマッチングやピッチイベント等の開催により新製品開発や事業化を支援する。 | AG12 | 次世代産業課 | 18,000 | ・ベンチャーマッチングの実施<br>・ピッチイベントの開催 | ・新規事業の策定を目指す企業への伴走支援<br>・ピッチイベント等による事業化支援 | 継続 |
| 122 | ① | 2 | スタートアップ支援事業 | 「ものづくり創造拠点SENTAN」を活用したハッカソン等の開催による市内外からのスタートアップ候補の掘り起こしとスタートアップ支援制度の運用により「場所」「金」「機会」の支援を行う。 | AG12 | 次世代産業課 | 34,100 | ・ビジネスプランコンテストの開催<br>・ものづくり創造補助金の交付<br>・物流ドローン実証実験、開発報告会、普及啓発事業の実施 | ・スタートアップの掘り起こしイベントの開催<br>・ものづくり創造補助金の交付<br>・次世代航空モビリティの普及啓発及び参入促進 | 継続 |
| 123 | ① | 2 | ものづくりミライ塾事業 | 社会課題の解決など大きな視点で一連の製品開発を経験することで自ら考え、行動し、新製品等を創出できる人材を育成する。 | AG12 | 次世代産業課 | 30,000 | ・ものづくりミライ塾の運営 | ・ものづくりミライ塾の運営 | 継続 |
| 131 | ① | 3 | ブランド農産物担い手育成事業 | 農ライフ創生センター「桃・梨専門コース」を運営するとともに、産地の離農者の事業を新規担い手に承継する仕組みを検討する。 | AG14 | 農業振興課 | 17,509 | ・インターネットサイトでPR<br>・農地3,366㎡確保、桃苗木の定植<br>・桃栽培サポート養成講座開催<br>(1回、延べ5人参加) | ・研修生確保のためのPR<br>・研修生向け農地及び農業機械の確保<br>・桃栽培サポーターの養成・運用 | 継続 |
| 132 | ① | 3 | 農商工連携・６次産業化推進事業 | 農商工連携や６次産業化に関するセミナーや研修会、異業種交流会などを実施するほか、連携イベント等を開催する。 | AG13 | 農政企画課 | 1,536 | ・研修会・交流会・連携イベント開催<br>・特産品開発等のアドバイザー派遣 | ・研修会・交流会・連携イベントの開催<br>・異業種交流会の開催<br>・特産品開発等のアドバイザーの派遣 | 継続 |
| 133 | ① | 3 | 鳥獣害対策事業 | 鳥獣害対策を行う農家や集落への支援及び有害鳥獣駆除を実施するとともに、人材育成や効果的、効率的な被害防止対策を研究する。 | AG14 | 農業振興課 | 49,237 | ・侵入防止柵の設置31.6km<br>・有害鳥獣の捕獲10,166頭羽<br>・緩衝帯の整備5集落<br>・集落獣害対策ベストマッチ事業8集落 | ・侵入防止柵への補助<br>・有害鳥獣の捕獲<br>・環境整備への補助<br>・効果的な対策の研究 | 継続 |
| 141 | ① | 4 | 新作業システム導入支援事業 | 効率的な施業と森林保全の両立を図るため、路網作設[1]に過度に依存しない架線系による新たな施業システムの導入を支援する。 | AG07 | 森林課 | 0 | ・新作業システムの運用方法を検討した。 | ・新作業システム導入補助 | 継続 |

| 事業識別CD | 基本目標 | 中項目 | 事業名 | 事業概要 | 所属CD | 所属 | 事業費（令和４年度）（千円） | 実績（令和４年度） | 取組内容（令和５年度） | 方向性（令和５年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 142 | ① | 4 | 地域材利用促進事業 | 一般社団法人ウッディーラー豊田等とともに、森林と都市部をコーディネートし、木製品の開発、ツアー、勉強会等を通じて地域材の魅力をPRし、木材利用を促進する。 | AG07 | 森林課 | 21,871 | ・一般社団法人ウッディーラー豊田等とともに、都市部向けのイベント等１２件に出展し、地域材をPRしたほか、地域材を活用した商品開発など地域材の利用促進を行った。令和２年度に創設したテナント店舗等木質化モデル創出事業補助金において、地域材を使用した改装等を実施した民間施設の11店舗（飲食店6件のほか、食品販売、エステサロン,アパレル、住宅展示場、自動車学校）に補助を行い、広く地域材の利用促進を行った。 | ・継続して事業をすすめていく。 | 継続 |
| 143 | ① | 4 | 関連市道・林道整備事業 | 製材工場等へのアクセスを円滑にし、木材搬出量の増加や流通の効率を上げる。 | AH18 | 建設企画課 | 1,291,152 | ・L=0.837km | ・令和5年度も計画通りに事業を推進していく予定。 | 継続 |
| 151 | ① | 5 | 就労支援事業 | 若年者、中高年齢者、女性、定住外国人など多様な人材に対し、職業相談・紹介のほか、セミナー、キャリアカウンセリングなどを実施する。 | AG11 | 産業労働課 | 62,596 | ・就労支援セミナー、キャリアカウンセリングの実施<br>・中高年齢者就労支援のための企業訪問<br>・事業所と求職者との交流機会の提供 | ・就労支援セミナー、キャリアカウンセリングの実施<br>・職業相談、職業紹介の実施<br>・事業所と求職者との交流機会の提供 | 継続 |
| 152 | ① | 5 | 地域産業の担い手確保支援事業 | 今後就職を考える若年者等を対象に、中小企業の魅力を伝えるパンフレット、動画の作成や、出張授業、オープンファクトリー等イベントを開催するほか、企業と副業・兼業人材等とのマッチングを支援する。 | AG11 | 産業労働課 | 22,890 | ・副業、兼業人材とのマッチングの支援<br>・企業と学生等とのマッチング機会の提供<br>・先輩名鑑の発行<br>・インターンシップ受入の支援<br>・高校生対象中小企業魅力発信事業の実施 | ・企業と学生等とのマッチング機会の提供<br>・先輩名鑑の発行（電子版）<br>・インターンシップ等受入の支援<br>・高校生対象中小企業魅力発信事業の実施<br>・人材確保に関する伴奏型コンサルの実施<br>・副業、兼業人材とのマッチングの支援<br>・技能五輪を生かした魅力発信事業の実施 | 拡大 |
| 211 | ② | 1 | 交流コーディネート事業 | おいでん・さんそんセンターにより、都市部と山村部をコーディネートするとともに、その魅力や山村部の価値を発信する。 | AN01 | 企画課 | 26,598 | ・交流コーディネート50件<br>・集落活動支援（5集落） | ・交流マッチング、集落活動応援隊、情報発信等の実施 | 継続 |
| 212 | ② | 1 | 足助地域核エリア再生事業 | 地域資源や地域特性を生かした事業創出を通じて、地域の担い手の創出と地域が自立的に存続するための仕組みを構築する。 | AU03 | 足助支所 | 14,426 | ・若手起業家による事業創造を目指した滞在型企画の実施：10名参加<br>・足助まちづくりビジョンの策定 | – | 完了 |
| 213 | ② | 1 | わくわく事業 | 地域資源を活用し、地域課題の解決や地域の活性化のために地域住民が主体的に取り組む事業の経費を補助する。 | AU01 | 地域支援課 | 92,799 | ・268の事業が実施され、地域の担い手の育成及び地域活動の活性化が図られた。 | ・地域資源を活用し、地域課題の解決や地域の活性化のために地域住民が主体的に取り組む事業の経費を補助。 | 継続 |
| 214 | ② | 1 | 豊森なりわい塾事業 | 山村をフィールドにこれからの生き方・働き方・社会のカタチを考え、山村の担い手、関係人口を創出する。 | AN01 | 企画課 | 0 | ・５月に１０期の講座が終了し１９名が卒塾<br>・後継事業立案し、予算化 | ・山里ひとなる塾の実施 | 継続 |
| 215 | ② | 1 | 道の駅どんぐりの里いなぶ再整備事業 | 重点「道の駅」に選定されたことを契機として、地域活性化の拠点となる「道の駅」の機能拡充及び周辺整備を実施する。 | AU04 | 稲武支所 | 107,470,359 | ・再整備工事（どんぐり横丁増改築、キャノピー新設、テーマ館改修）<br>・仮設店舗での営業　来訪者数：55,090人<br>・オープニングイベント実施<br>・どんぐりの湯リフレッシュオープンイベント実施 | ・豊田市唯一の道の駅として、稲武地域の振興のほか「オール豊田市」の視点も重視し地域商社としての機能の推進を図る。具体的には、ツアー業者のほか、メディア、SNS等を活用し、より注目度が高まる広報活動を実施する。 | 完了 |
| 221 | ② | 2 | まちなか広場空間活用事業 | 「あそべるとよたプロジェクト」等、まちなかの公共的空間の活用を促進させる取組を支援し、公民連携した中心市街地のにぎわいを創出する。 | AG02 | 商業観光課 | 8,499 | ・民間団体主導で公共空間を活用した。 | ・民主導による公共空間の活用事業の実施（あそべるとよた等）<br>・将来に向けた広場活用、管理・運営体制の再編検討<br>・WRC開催時におけるまちなかおもてなし事業の実施 | 拡大 |
| 222 | ② | 2 | とよた科学体験館プラネタリウム改修事業 | 施設の魅力向上や学習利用での理解向上に向け、光学式プラネタリウムやデジタル式プラネタリウムなどの改修・更新を実施する。 | AW01 | 市民活躍支援課（ものづくりサポートセンター） | 0 | ・令和３年度にて事業完了のため、令和４年度は実績なし。 | ・令和３年度にて事業完了のため、令和４年度は実績なし。 | 完了 |
| 223 | ② | 2 | 映画を生かしたまちづくり事業 | 映画文化の醸成、及び映画・シネマコンプレックスを生かした賑わいづくりを実施する。 | AG02 | 商業観光課 | 4,997 | ・映画作品を活かしたまちづくり事業を実施した。 | 映画作品と連携したまちなか回遊事業<br>・シネコン連携企画<br>・神在月学校上映企画<br>映画文化の醸成事業<br>・過去の名作等の映画作品を、公共施設で上映 | 継続 |
| 231 | ② | 3 | 観光マーケティング推進事業 | 一般社団法人ツーリズムとよたの運営を支援し、観光の産業化を推進する。 | AG02 | 商業観光課 | 103,773 | ・(一社)ツーリズムとよたに対する補助金の交付や人的支援を実施した。 | ・(一社)ツーリズムとよたに対する補助金の交付や人的支援 | 継続 |
| 232 | ② | 3 | インバウンド推進事業 | ターゲットに対応した戦略的なプロモーション及びおもてなし環境を整備する。 | AG02 | 商業観光課 | 5,584 | ・コロナ禍における（アフターコロナへも向けた）外国人の受入環境の整備を実施した。 | ・計画に基づくプロモーションの実施及び滞在環境の充実 | 継続 |
| 233 | ② | 3 | 鞍ケ池公園賑わい空間創出事業 | 市内外から訪れる多様な世代が多様な楽しみ方を実現する空間を創出する。 | AJ23 | 公園緑地つかう課 | 234,734 | ・令和４年度来園者数　1,457,800人 | ・引き続き市内外から訪れる多様な世代が多様な楽しみ方を実現する空間を創出する。 | 継続 |

| 事業識別CD | 基本目標 | 中項目 | 事業名 | 事業概要 | 所属CD | 所属 | 事業費（令和４年度）（千円） | 実績（令和４年度） | 取組内容（令和５年度） | 方向性（令和５年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 234 | ② | 3 | ラリーを生かしたまちづくり事業 | ラリーをはじめとしたモータースポーツの開催等を通じ、「クルマを楽しむ」自動車文化の醸成、地域活性化を推進する。 | AW08 | ラリーまちづくり推進課 | 346,625 | ・ﾌｫｰﾗﾑｴｲﾄ・ﾗﾘｰｼﾞｬﾊﾟﾝ2022の開催支援<br>・その他ﾗﾘｰ競技の開催(TGRﾗﾘｰﾁｬﾚﾝｼﾞ・豊田しもやまﾗﾘｰなど)<br>・各種ｲﾍﾞﾝﾄでのPR及びﾗﾘｰｵｰﾀﾑでの市内盛り上げなど | ・本市が主体となった2023年WRCの開催<br>・2023年WRC開催を生かした都市部・山村部での盛り上げ<br>・2024年WRCの開催準備<br>・既存のモータースポーツイベントを生かした市内の盛り上げ<br>・国内外へのプロモーションの実施 | 拡大 |
| 241 | ② | 4 | 市街化調整区域内地区計画の活用 | 鉄道駅周辺や市街化区域隣接部など、既存ストックの活用が図られる地域等において、民間事業者による開発を誘導し、宅地供給の促進を図る。 | AJ18 | 定住促進課 | 0 | ・１案件の計画決定を行い、４２宅地の供給につなげた。 | ・制度の活用による民間宅地開発の誘導促進 | 継続 |
| 242 | ② | 4 | 定住促進プロモーション事業 | 本市への定住を促進するため、定住促進プロモーション「ファースト暮らすとよた」を通じて、市内外の家族形成期を中心とした世代へ豊田市の魅力や住みやすさについてメディアやWebサイト、PR冊子等で情報を発信する。 | AJ18 | 定住促進課 | 13,170 | ・街の魅力や住宅取得に関する傾向分析<br>・住宅業者へのヒアリング<br>・住まいに関する総合情報サイト、イベント、Yotube、自社サイトでの情報発信<br>・PR冊子の配布<br>・PR動画の放映 | ・住まいに関する総合情報サイト等を活用した情報発信<br>・デベロッパーと連携した情報発信<br>・移住定住促進サイトの運営<br>・市内外のイベント出展<br>・PR冊子の配布(関連事業として別予算で実施) | 継続 |
| 251 | ② | 5 | トップアスリート・スポーツチーム応援事業 | 本市ゆかりのトップスポーツチームやアスリートを応援し、市民のスポーツへの関心を増大させ、市への愛着や誇りを高める。 | AW10 | スポーツ振興課 | 28,845 | ・夢の教室（59校113クラス実施）<br>・競技会誘致（10大会実施）<br>・わがまちアスリートの特集誌掲載、等身大パネルの作成<br>・ホームチーム地域交流事業の実施（3クラブ）<br>・ホームチームのバスラッピング、まちなか装飾等の実施<br>・都市対抗野球大会現地応援の実施 | ・地元のトップスポーツチームや本市ゆかりのトップアスリートの応援事業の実施 | 拡大 |
| 252 | ② | 5 | Jリーグホームタウン推進事業 | 2021シーズンから20試合程度に増加する見込みの、豊田スタジアムでの名古屋グランパスのホーム公式戦開催に合わせ、来場者を取り込んだ取組や応援気運を盛り上げる自主的な取組に関する支援・調整を実施する。 | AW10 | スポーツ振興課 | 5,183 | ・経済波及効果調査<br>・小学校（58校・5,577人）・こども園(97園・3,396人）への指導者派遣事業<br>・開幕応援事業<br>・WE LOVE サッカー・豊田ゲームス2022 | ・ホーム公式戦の開催及び連携事業の実施調整 | 継続 |
| 261 | ② | 6 | 郷土学習推進事業 | 市民や団体、地域と共働により、郷土の歴史・文化財を子どもたちに継承する取組を学校と連携して実施する。 | AW06 | 博物館準備課 | 949 | ・とよた歴史マイスターの認定・活動の支援（認定延べ70人・年度活動延べ43人）<br>・郷土学習スクールサポートの実施（30,870人） | ・出前授業における児童への学習活動の支援などを実施（歴史マイスター）、スクールサポートは教材貸出、出前事業中心に行った。令和５年度は博物館での市民参加方法、博学連携事業について詳細を検討、ボランティアの募集や研修を開始し、みんなでつくる博物館事業へ移行する。 | 完了 |
| 262 | ② | 6 | 博物館整備事業 | 歴史・文化や自然など本市の持つ価値や魅力を守り、伝え、継承するための拠点である博物館を整備する。 | AW11 | 博物館準備課 | 2,189,756 | ・建築工事、展示収蔵環境製作の開始（R5まで継続）<br>・園路整備工事の開始（R5まで継続） | ・建築工事等は年度内に完成見込。事務所機能移転や一部資料移送と常設展示作業を行う。令和６年度４月の開館に向けての市民周知活動をＳＮＳや映像配信、各種広告等行う。 | 継続 |
| 271 | ② | 7 | 関連市道整備事業 | 都市部と山村部の交流促進や産業拠点間の交通円滑化に向けた幹線道路ネットワークの強化及び幹線道路へ安全にアクセスできる生活道路の整備・改築を行う。 | AH18 | 建設企画課 | 1,291,152 | ・L=0.837km | ・令和5年度も計画通りに事業を推進していく予定。 | 継続 |
| 311 | ③ | 1 | とよた急病・子育てコール24運営事業 | 子育ての不安感や負担感を訴える相談者等に応じるため、24時間・365日対応可能なコールセンターを開設し、継続的な支援が必要な家庭に対する支援につなげる。 | AK02 | 子ども家庭課 | 13,069 | ・育児相談件数：3,363件 | ・２４時間３６５日の育児相談の実施 | 継続 |
| 312 | ③ | 1 | 多胎パパママ教室 | 多胎を妊娠した妊婦が身体的・精神的に安定した妊娠・出産・育児を迎えるため、妊婦及びその家族を対象に、多胎の妊娠出産経過や家族の役割について、多胎育児経験者を交えたグループワークなどを行う。 | AQ02 | 子ども家庭課 | 44 | ・受講率65%（多胎妊婦40人中、教室参加者26人） | ・多胎を妊娠した妊婦が出産後の生活をイメージし、前向きな気持ちで子育てしてもらうための教室を実施 | 継続 |
| 313 | ③ | 1 | 思春期教室事業 | 実施希望のあった学校の中学生等を対象に、保健師等が講師として出向き、性や命の尊さ、妊娠・出産等に関する性教育を実施する。特に、主体的に取り組む学校には、資料や教材の貸与を行う。 | AQ02 | 子ども家庭課 | 778 | ・実施校数；25校(中学校)、5校(小学校) | ・性教育の実施 | 継続 |
| 314 | ③ | 1 | とよた出会いの場プロジェクト事業 | 青少年の独身者を対象に、立食パーティーや交流ゲームなどのイベントや活動を通して出会い、交流できる活動を実施する。 | AQ01 | こども・若者政策課 | 141 | ・「若者社会問題支援事業」として、若者による実行委員会が企画・運営する形で、総合野外センターにおける婚活イベントを１回実施し、27名が参加した。 | ・若者による実行委員会が企画・運営する形で、婚活イベントを２回実施する予定。 | 継続 |
| 321 | ③ | 2 | 公立こども園のICT活用事業 | 公立こども園にICTを導入し、保護者や保育士の負担を軽減することで、多様な保育ニーズに対応できる環境を整備する。 | AQ03 | 保育課 | 49,525 | ・公立こども園全園でのキャッシュレス決済運用開始<br>・新規機能の導入検討 | ・システム運用<br>・導入機能検討<br>・運用方法検討 | 継続 |
| 322 | ③ | 2 | 人材確保に向けた大学連携事業 | 保育士等を養成する大学等と連携し、保育士等を志望する学生の増加に向けた取組を実施する。 | AQ03 | 保育課 | 0 | ・保育の魅力説明会の実施（4大学、138名参加）<br>・実習等保育現場の経験機会の提供<br>・「豊田市で保育士になろう！」ガイドブックの配付<br>・保育士確保に向けた新規連携事業の検討 | ・保育士の人材確保に向けて大学との連携事業の魅力説明会を継続し、大学と連携しながら高校等にも保育士の魅力を伝えていく。 | 継続 |
| 323 | ③ | 2 | 放課後児童クラブ事業 | 原則小学校4年生までの就労家庭の児童の生活の場を、学校施設を有効に活用し、確保する。 | AQ01 | こども・若者政策課 | 1,160,463 | ・放課後児童クラブの運営：71校<br>・5月1日時点参加児童数：3,954人 | ・放課後児童クラブの運営：71校<br>・5月1日時点参加児童数：約4,200人<br>・入退室管理システム：５校<br>・通信環境整備 | 継続 |

| 事業識別CD | 基本目標 | 中項目 | 事業名 | 事業概要 | 所属CD | 所属 | 事業費（令和４年度）（千円） | 実績（令和４年度） | 取組内容（令和５年度） | 方向性（令和５年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 331 | ③ | 3 | きめ細かな教育推進事業 | 市の現状に合ったきめ細かな教育の推進を図るために少人数学級とサポートティーチャーを組み合わせた制度を継続実施するとともに、当該校の養護教諭が校外学習等で不在時でも食物アレルギーや熱中症等の対応ができるように非常勤養護教諭を継続配置する。 | KC03 | 学校教育課 | 421,742 | ・少人数学級の実施（小１、小２、中２、中３）<br>・サポートティーチャーの配置（小１、小２、小５、小６）<br>・非常勤養護教諭の配置 | 【検証・評価】<br>・サポートティーチャー実施報告書の分析（１０月）<br>・少人数学級検証委員会の実施（１１月）<br>【令和５年度の方向性】<br>・学級編制の標準を３０人とする市独自の少人数学級（試行）を小学３年生へ拡大 | 拡大 |
| 332 | ③ | 3 | ICT活用・整備推進事業 | 児童生徒が学校で円滑にICT機器を使うことができるようICT環境を整備し、教員の情報活用指導力の向上をめざした研修を行うことで、児童生徒がICT機器を活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に取り組めるようにする。 | KC03 | 学校教育課 | 939,617 | ・学習系と校務系ネットワークの統合<br>・デジタルドリル教材（Qubena）の導入<br>・ＩＣＴカートの整備<br>・オンライン授業用の教員用学習タブレットの整備 | 【検証・評価】<br>・教育情報セキュリティポリシーの施行（４月）<br>・学校の教育情報資産の運用・管理状況の確認（１月～）<br>・Ａ５ライセンスを用いたセキュリティ向上の検証事業（１０月～）<br>【令和５年度の方向性】<br>・学習系と校務系ネットワークの統合による業務改善の推進（４月～）<br>・デジタルドリル教材（Qubena）の活用推進（４月～）<br>・コンピュータ室の機器の撤去及び今後の活用についての検討（７月～） | 継続 |
| 341 | ③ | 4 | 働き方改革推進事業 | 市民への啓発、企業経営者等へのセミナー、事業所訪問や優良事業所表彰を通した意識啓発及び改革に取り組む企業へのアドバイザー・講師派遣を実施する。 | AG11 | 産業労働課 | 4,840 | ・優良事業所表彰の実施<br>・アドバイザー講師の派遣<br>・各種啓発セミナー及び事業所訪問の実施 | ・優良事業所表彰の実施<br>・アドバイザー講師の派遣<br>・各種啓発セミナー及び事業所訪問の実施<br>・補助金の交付<br>・働きやすい職場づくり推進事業所確認・公表制度の創設、周知 | 拡大 |
| 351 | ③ | 5 | 子ども食堂支援事業 | 子ども食堂の立上げや運営に関する相談対応、事業継続のための寄附やボランティア等マンパワーの確保などに取り組むとともに、子ども食堂の運営に係る費用の一部を支援する。 | AX03 | 福祉総合相談課 | 6,571,217 | ・とよたこども食堂ネットワーク役員会にてアドバイス・助言等実施（月１回）<br>・交流会開催（３回）<br>・子ども食堂　R4年度末　３２か所 | ・相談対応、運営支援、寄付等の確保<br>・補助金の交付 | 継続 |
| 352 | ③ | 5 | 子どもの学習・生活支援事業 | 経済的理由等により学習環境が整っていない子どもに対し、ボランティア等による学習支援及び生活習慣の形成・改善など世帯全体の生活支援を実施する。 | AX03 | 福祉総合相談課 | 17,786 | ・集合型開催実績　６か所（２７０回／年）<br>・参加児童生徒数　１１１人 | ・集合型　６か所（各場所　週１回開催） | 継続 |
| 353 | ③ | 5 | いじめ・不登校対策事業 | いじめや不登校の早期対応・早期解決や、児童生徒・保護者の個々の状況に応じた適切な支援を行うために、教職員の力量向上をめざした研修や校内支援体制、相談事業や適応指導教室・個別サポート事業の充実を図る。 | KC03 | 学校教育課 | 330,255 | ・教職員の力量向上のための研修（いじめに関する研修3・教育相談コーディネーター研修1・教育相談主任研修1・スクールカウンセラー研修2・心の相談員研修2）９回実施<br>・豊田市いじめ防止対策委員会において、市内の小・中学校のいじめの状況を報告。研修や校内支援体制等の検証を実施。<br>・スクールソーシャルワーカーの述べ支援児童生徒数　2,808人<br>・市スクールカウンセラーの述べ利用件数　21,736件<br>・パルクはあとラウンジ登録者数　193人 | 【検証・評価】<br>・スクールソーシャルワーカーへの相談が増加しており、需要が増してきている。<br>・市スクールカウンセラーによる相談件数は、前年度同様多い水準で維持している。<br>・パルクはあとラウンジの登録者数は、前年度比1.7倍と大幅に増加しており、需要の高さが見られる。<br>・スクールソーシャルワーカーの児童生徒との関わり、市スクールカウンセラーの相談回数を調査し、検証する。（スクールソーシャルワーカー（３月）、市スクールカウンセラー（毎月））<br>【令和５年度の方向性】<br>・教職員への研修は継続実施。<br>・スクールソーシャルワーカーは、拠点校配置による支援を安定させる仕組みづくりを行い、体制強化を図る。<br>・パルクはあとラウンジは、利用施設の増加や支援体制の見直しを行い、利用者のさらなる増加に伴う体制づくりを図る。 | 拡大 |
| 411 | ④ | 1 | 市民活躍応援事業 | 市民活動促進補助金の交付や市民活動情報サイトの運用により、多様な主体が活発に活動できるよう応援し、市民活動を促進する。 | AW01010 | とよた市民活動センター | 3,710 | ・市民活動情報サイト利用11,000件<br>・市民活動促進補助金12団体 | ・市民活動促進補助金の交付及び市民活動情報サイト運用 | 縮小 |
| 412 | ④ | 1 | 社会人による公益活動促進事業 | 社会人によるボランティア参加の場を創出し、市民活動団体が行う「共働によるまちづくり」活動を促進する。 | AW01010 | とよた市民活動センター | 2,200 | プロボノ15人が市民活動3団体の課題解決 | | 完了 |
| 413 | ④ | 1 | 市民活動体験支援事業 | 性別にかかわらず自分らしく楽しく暮らせる社会の実現、市民活動の裾野の拡大を目的に、市民活動体験プログラムを実施する。 | AW01010 | とよた市民活動センター | 3,000 | とよたつながる博の実施105プログラム<br>参加者1,679人 | | 完了 |
| 421 | ④ | 2 | きらきらウエルネス地域推進事業 | 健康関連データを中学校区ごとにまとめた地域健康カルテを基に、地域特性に応じた健康づくりを住民との共働により推進する。 | AY04 | 地域保健課 | 1,396 | ・意見交換会の実施、地域健康づくり事業計画の作成：１地区 | ・意見交換会等の実施、地域健康づくり事業計画の作成<br>民間事業所と連携した健康づくり事業の実施 | 継続 |
| 422 | ④ | 2 | 元気アップ事業 | 高齢者が要介護状態にならないよう、身近な場所で介護予防教室を実施し、自主的に継続できるように支援する。 | AY04 | 地域保健課 | 1,144 | ・実施か所数：11か所（72回） | ・高齢者の体力づくりや認知症予防を目的とした教室を実施し、介護予防活動が自主的に継続できるよう支援する | 継続 |
| 423 | ④ | 2 | SIB（ソーシャル・インパクト・ボンド)を活用した社会参加型介護予防事業 | 民間の創意工夫を生かすソーシャル・インパクト・ボンドを活用し、趣味や運動、就労等を通じた社会参加機会を増やすなど、介護予防につなげる取組を実施する。 | AN07 | 未来都市推進課 | 51,959 | ・体験会の開催による事業周知を行うとともに民間プログラムを実施（プログラム提供数：60（48事業者））<br>・評価検証に必要なアンケート調査の実施<br>・事業開始からの累計参加者数：5,531人（うち、継続1,561人） | ・2021年の事業開始以降、新型コロナウイルス感染症の感染状況に大きく影響を受け、参加者数は伸び悩んだが、参加事業者の増加や体験会の開催、各種広報施策により参加者数は上向きとなっている。令和5年度には、地域の高齢者クラブや豊寿園などの高齢者が集う施設と連携したプログラムの実施に加え、引き続き体験会等を実施することで取組をさらに加速させ、事業を継続していく。 | 継続 |

| 事業識別CD | 基本目標 | 中項目 | 事業名 | 事業概要 | 所属CD | 所属 | 事業費（令和４年度）（千円） | 実績（令和４年度） | 取組内容（令和５年度） | 方向性（令和５年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 431 | ④ | 3 | 地域スポーツ支援事業 | 地域スポーツクラブやスポーツ推進委員の活動を様々な点から支援することで、身近な地域でのスポーツ機会を創出する。 | AW10 | スポーツ振興課 | 11,782 | ・教員向け走り方動画の作成（1動画）<br>・走り方教室の実施（53校）<br>・ホームチーム地域交流事業の実施（3クラブ）<br>・地域スポーツクラブ活動事業費補助金交付（7クラブ）<br>・法人格取得支援（1クラブ）<br>・保険加入支援（7クラブ）<br>・インボイス制度説明会の開催（9クラブ、19人参加）<br>・地域スポーツクラブ会議の運営（計5回） | ・地域スポーツクラブやスポーツ推進委員との連携事業や活動支援 | 拡大 |
| 441 | ④ | 4 | 企業・大学と連携したスポーツ支援体制の構築 | 企業・大学と連携したスポーツ教室等を継続して開催しながら、企業・大学の優れた指導者や環境を活用できる仕組みを構築する。 | AW10 | スポーツ振興課 | 1,205 | ・豊田スポーツアカデミー<br>ラグビークラス33回実施、野球クラス24回実施<br>女子バスケットボールクラス37回<br>・フェアリージャパンPOLA特別演技会の実施<br>・タグラグビー教室7回実施<br>・中京大学連携子ども向けスポーツ教室11教室開催 | ・企業・大学と連携したスポーツ教室等の開催<br>・仕組みの構築と、仕組みを活用した事業への段階的な転換 | 継続 |
| 451 | ④ | 5 | 日本語教育促進事業 | 日本語学習支援を必要とする外国人市民を対象に、就学前、学齢期、就労期における日本語学習支援、学校教育の補完的学習支援等、総合的な日本語教育推進施策を実施する。 | AW09 | 国際まちづくり推進課 | 23,238 | ・幼児向け日本語教育事業<br>①保見団地教室：45日、延べ参加者数 212人<br>　伊保こども園教室：43日、延べ参加者数 243人<br>　美和こども園教室：17日、延べ参加者数 137人<br>②保護者向け啓発<br>　保見団地教室：3日、延べ参加者数 12人<br>　伊保こども園教室：3日、延べ参加者数 9人<br>・社会適応サポート事業：223日、延べ参加者数 1,560人<br>・青少年学習支援事業：275日、延べ参加者数 2,706人<br>・とよた日本語学習支援システム：7教室、外国人学習者 246人（延べ1,151人）、日本人支援者 332人<br>・多文化子育てサロン： 10回、 延べ参加者数 228人 | ・NPO法人等との連携による、幼少期における日本語指導及び学校教育等の補完的学習支援、不就学者等に対する学習支援<br>・とよた日本語学習支援システムの運営（初期レベルの日本語教室の開催）<br>・見直し後の外国人児童生徒に対する日本語学習等支援策の実施<br>・多文化子育てサロンの実施<br>・多文化共生に関する活動の担い手育成事業の実施による日本語教育の知識習得及びマンパワーの確保 | 拡大 |
| 452 | ④ | 5 | 国際理解・啓発事業 | 国際交流や国際協力に関心はあるが、活動に参加したことがない市民に対して、国際分野に関する啓発や人材の掘り起こしを行うため、教育・啓発段階と活動実践段階において、国際理解に関する取組を実施する。 | AW09 | 国際まちづくり推進課 | 233 | ・マイカントリーデー：2回、44人<br>・こども国際クラブ：15回、延べ177人<br>・国際理解教育：10回、延べ584人<br>・国際理解セミナー：17人<br>・ナショナルデー：5回、延べ163人<br>・若者の国際フォーラム：2回、99人<br>・国際の日：426人<br>・ワールドフードinとよた：2,000人 | ・（公財）豊田市国際交流協会と連携し、「教育・啓発」「活動実践」の段階に応じた、国際理解・啓発を目的とするイベントや講座の実施<br>・若者の国際フォーラム及び地球市民文化祭の実施<br>・JETプログラムを活用したCIRの配置による異文化理解の促進 | 継続 |
| 453 | ④ | 5 | 姉妹都市交流事業 | 国際交流に興味のある市民に対して情報発信をするとともに、豊田市と姉妹都市の特色や友好関係を最大限に生かし、交換学生事業や周年事業等といった交流事業を実施する。 | AW09 | 国際まちづくり推進課 | 7,003 | ・デトロイト学生派遣は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、代替としてオンライン交流を実施：生徒12人<br>・ダービーシャー学生派遣：生徒16人、引率2人<br>・稲武中学校とダービーシャーの学校とのオンライン交流を実施：生徒8人、先生6人<br>・子ども会議は英国からの来日ができなくなり中止 | ・デトロイト市交換学生派遣事業<br>・ダービーシャーとの交流事業（子ども会議等）<br>・ダービーシャー高校生派遣事業<br>・ダービーシャーとの姉妹都市25周年事業 | 拡大 |
| 454 | ④ | 5 | 外国人市民の住みやすさ向上事業 | 外国人市民の意見を市の取組に反映することや、外国人市民の主体的な情報発信を促すことにより、外国人市民の住みやすさの向上を図る。あわせて、外国人市民への情報発信が可能な多文化共生のキーパーソンとなる外国人及び日本人による、効果的な情報発信の体制を構築する。 | AW09 | 国際まちづくり推進課 | 1,008 | ・外国人の意見を聴く会の開催（1回）<br>・とよたフレンズ認定（6団体及び個人1人）<br>・とよたフレンズPRウォールバナー、シール作成<br>・ロゴマークを活用した外国人住民向けデジタルサイネージでの情報発信（豊田厚生病院での119番PR）<br>・保見地域会議主催のゴミ拾いイベントにとよたフレンズ（華豊の友）が参加 | ・外国人の意見を聴く会の開催<br>・「とよたフレンズ」の確保、研修・交流会の開催<br>・Facebook、ホームページを活用した生活情報等動画作成及び発信<br>・外国人向け社会保障ｾﾐﾅｰの開催 | 継続 |
| 461 | ④ | 6 | 救急医療提供体制確保事業 | 市民がいつでも症状に応じた適切な診療が受けられるように、救急対応医療機関への補助金交付及び休日救急診療所の運営を行う。 | AX01 | 地域包括ケア企画課 | 159,093 | ・補助金の交付<br>・休日救急診療所の運営 | ・補助金の交付<br>・休日救急診療所の運営 | 継続 |
| 462 | ④ | 6 | 在宅医療・福祉連携推進事業 | 本人の望む療養生活を全うできるよう、在宅医療と福祉の連携を強化し、在宅療養サービスの充実を図る。 | AX01 | 地域包括ケア企画課 | 19,248 | ・電子@連絡帳の活用推進<br>・在宅相談ステーションの適正な運営<br>・訪問看護師育成センターの適正な運営<br>・総合療法士育成センターの適正な運営<br>・在宅療養の普及啓発 | ・在宅医療・福祉連携推進計画の推進と次期計画の策定<br>・ICT技術の導入支援<br>・在宅相談ステーションの運営<br>・訪問看護師育成センター及び総合療法士育成センターの運営 | 継続 |
| 471 | ④ | 7 | 地域包括支援センターの機能強化 | 地域包括支援センター職員の人材育成を目的として、研修計画に沿った研修の実施、ブロック協力事業の実施、人材育成等計画を推進する。 | AX06 | 高齢福祉課 | 872,650 | ・研修38回632人参加<br>・ブロック協力事業検討委員会85回実施 | ・研修実施<br>・ブロック協力事業の継続<br>・人材育成等計画の継続 | 継続 |

| 事業識別CD | 基本目標 | 中項目 | 事業名 | 事業概要 | 所属CD | 所属 | 事業費（令和４年度）（千円） | 実績（令和４年度） | 取組内容（令和５年度） | 方向性（令和５年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 472 | ④ | 7 | 総合的な認知症施策推進事業(支援チーム) | 認知症の人やその家族の支援ニーズと、認知症サポーター[1]を中心とした支援をつなぐ仕組みを構築し、支援チームとして共生の地域づくりを推進する。 | AX06 | 高齢福祉課 | 763 | ・認知症サポーター養成講座等の実施【認知症サポーター養成講座受講者2,097人、ステップアップ講座受講者190人】<br>・支援チーム研修会の実施【参加者19人】<br>・認知症サポーター養成講座等におけるあいち電子申請・届出システムの活用実施 | ・全世代向けの認知症サポーター養成講座等の実施<br>・支援チームの後方支援<br>・活動支援に必要な情報発信ツールの検討 | 継続 |
| 473 | ④ | 7 | 総合的な認知症施策推進事業(早期発見と社会参加) | 関係機関と連携を図り、認知症の早期発見と認知症の人の地域社会での活躍を推進する。 | AX06 | 高齢福祉課 | 630 | ・警福連携等による早期発見の対応【チラシ配布17,849枚】<br>・社会参加支援研修会の実施【参加者63名】<br>・地域包括支援センターにおける社会参加支援のためのマッチングの実施【累計21か所】<br>・社会参加支援に係る企業等へのアドバイザー派遣の実施【7回】<br>・認知症の人の本人発信支援（ピアサポート活動）【2回】 | ・社会参加取組事例の拡充<br>・認知症の人の社会参加ニーズと企業ニーズをマッチングさせるプラットフォームの運用 | 継続 |
| 474 | ④ | 7 | 介護人材支援事業 | 今後安定的に介護サービスを提供するため、介護サービス事業所を支援するとともに、介護全般に対する市民理解を促進し、介護に関わる人材のすそ野を拡大する。 | AX07 | 介護保険課 | 9,338 | ・出前講座6回<br>・介護の仕事セミナー2回/介護の仕事相談会2回<br>・現任介護職員研修3回<br>・日本語学習講座110回/国試対策講座16回<br>・外国人受入れ10人<br>・ｷｬﾘｱｱｯﾌﾟ支援研修2回<br>・人材研修費補助19人 | ・市民への出前講座<br>・中学生職場体験推進<br>・就職相談会<br>・現任介護職員研修<br>・日本語学習等支援<br>・外国人受入れ支援<br>・キャリアアップ支援<br>・介護職場環境向上支援<br>・人材研修費等支援 | 継続 |
| 481 | ④ | 8 | 基幹バス運行事業 | 市中心部や各地域を結ぶとよたおいでんバスを効率的に運行し、広域的な移動手段を確保する。 | AJ02 | 交通政策課 | 732,278,996 | ・とよたおいでんバス１２路線の運行<br>(令和4年度利用者数　2,301,928人) | ・とよたおいでんバス１２路線の運行 | 継続 |
| 482 | ④ | 8 | 地域内移動手段確保事業 | 地域住民と市の共働により地域内を走るバス等を運行し、地域特性や需要に応じた交通サービスを提供する。 | AJ02 | 交通政策課 | 437,148,146 | ・地域バス及び地域タクシーの継続的な運行<br>（地域バス10地域、地域タクシー4地域、令和4年度利用者数　203,085人） | ・地域バス及び地域タクシーの継続的な運行、見直し | 継続 |
| 511 | ⑤ | 1 | とよたエコフルタウン推進事業 | とよたエコフルタウンを活用し、先進技術実証やSDGs未来都市の取組を見せる化する。 | AN07 | 未来都市推進課 | 77,762 | ・施設来館者25,772名<br>・ガイドツアー利用者2,726名<br>・イベントを24回開催 | ・ガイドツアー<br>・先進技術展示<br>・サービス体験<br>・イベント実施<br>・解体設計<br>・機能移転検討・実施 | 継続 |
| 512 | ⑤ | 1 | SDGs未来都市推進事業 | SDGs未来都市の取組事例を国内外へ発信する。 | AN07 | 未来都市推進課 | 102,685 | ・豊田市SDGs認証制度の検討・構築<br>・SDGs研修カード「とよたSDGsマスター」共働制作・完成<br>・VLR作成<br>・国連本部会議での発信<br>・IURC連携事業実施<br>・企業等と連携したカーボンニュートラル理解促進事業実施 | ・市民主体（フィールド）におけるSDGs事業及び活動支援<br>・国際会議、イベント・展示会、出前講座等での取組発信<br>・とよたSDGsパートナー「認証」制度の事務運営<br>・SDGs人材育成（ファシリテーター養成）<br>・とよたSDGsパートナーをつなぐ情報プラットフォームの構築<br>・企業・市民・学生等と連携したカーボンニュートラル理解促進事業実施 | 拡大 |
| 513 | ⑤ | 1 | 次世代社会システム推進事業 | 市の課題解決に資する先進実証を支援し、実用化を推進する。 | AN07 | 未来都市推進課 | 0 | ・新規実証件数13件<br>・新規入会8件 | ・本市における実証支援<br>・実装に向けた規制緩和支援<br>・AI、IoT等の積極的活用 | 継続 |
| 514 | ⑤ | 1 | 先進移動技術等実証事業 | 先進移動技術を活用した実証を支援し、実用化を推進する。 | AN07 | 未来都市推進課 | 7,458 | ・先進移動技術実証の推進<br>・新たな移動サービスの導入支援 | ・先進移動技術実証の推進<br>・新たな移動サービスの導入支援 | 継続 |
| 521 | ⑤ | 2 | 市役所のデジタル化・スマート化 | 申請手続きの電子化や各種行政事務へのAI・RPA等の活用による窓口のスマート化を図るとともに、職員ノウハウ等をAI化・データベース化し、行政サービスの質の向上を図る。 | AB12 | 情報戦略課 | 16,506 | ・スマート窓口の構築支援<br>・AIチャットボット・AI－OCR・AI議事録・オンライン申請の普及啓発<br>・キャッシュレス決済の開始<br>・BPR研修の実施 | ・スマート窓口の推進　・既存システムの利活用促進<br>・DX推進に寄与するBPRの実施　・内部事務改革の推進<br>・DXによる働き方改革の推進　・ローコードツールの活用によるDXの促進<br>・市民ポータルサイトの構築　・DX推進に向けた民間人材の活用 | 拡大 |
| 522 | ⑤ | 2 | 次世代通信網・データの活用の推進 | ５G等を活用した新サービスの創出に向けた先進技術による実証実験や、オープンデータ・ビッグデータ等の効果的な活用を図る。 | AB12 | 情報戦略課 | 11 | ・オープンデータガイドラインの改訂およびオープンデータ数の拡充<br>・若手DXPJ及びLINEの活用拡充<br>・DX促進に関する官民共創 | ・公式LINEの利便性向上　・マイナンバーカードの活用に向けて実証<br>・DX促進のための官民連携　・デジタル田園都市構想(都市OS)に関する検討・実証<br>・ガバメントクラウドに関する検討・実証　・BPOセンターの設置に関する検討・実証<br>・生成AIの活用検討　・DX人材育成 | 拡大 |
| 531 | ⑤ | 3 | 気候変動適応策推進事業 | 気候変動への適応という新しい考え方を浸透させるため、必要性や対応策について、市民や事業者等に対する普及啓発を実施。また、気候変動による本市への影響の分析・調査や必要な対応策等の検討を進める。 | AE01 | 環境政策課 | 723 | ・気候変動プラットフォームを活用した市民向け調査の実施 | ・適応策の推進<br>・気候変動適応セミナー等による情報発信<br>・熱中症対策事業 | 継続 |
| 541 | ⑤ | 4 | 自助意識普及啓発事業 | 市民の防災意識の高揚と防災知識の向上を図り、自助の取組を促進するための啓発事業を実施する。 | AU14 | 防災対策課 | 2,101 | ・マイ・タイムライン作成支援31回1,289人<br>・防災キャンプ3回 | ・マイ・タイムライン作成支援<br>・防災キャンプの実施支援 | 継続 |

| 事業識別CD | 基本目標 | 中項目 | 事業名 | 事業概要 | 所属CD | 所属 | 事業費（令和４年度）（千円） | 実績（令和４年度） | 取組内容（令和５年度） | 方向性（令和５年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 542 | ⑤ | 4 | 自主防災活動支援事業 | 自主防災リーダーの育成、防災訓練への指導員派遣や資機材貸与、防災事業に対する補助金交付などにより、自主防災組織の活動を支援する。 | AU14 | 防災対策課 | 16,750 | ・自主防災リーダー養成講座の開催：1回<br>・自主防災訓練153回<br>・自主防災会連絡協議会の運営<br>・気象防災アドバイザーによる出前講座3回 | ・自主防災リーダー養成講座の開催：1回<br>・自主防災組織の活動支援<br>・自主防災会連絡協議会の運営 | 継続 |
| 543 | ⑤ | 4 | 事業者災害時行動マニュアル等作成促進事業 | 大学等と連携した研修会の実施など、災害時に事業者が迅速に復旧・復興するための行動マニュアル(BCP含む)の作成を支援する。 | AU14 | 防災対策課 | 830 | ・行動マニュアル（ＢＣＰ含む）の作成を支援する講習会(入門編・中級編、フォローアップ)の開催11回 | ・行動マニュアル（BCP含む）の作成支援講習会(入門編・中級編・フォローアップ)の開催11回 | 継続 |
| 544 | ⑤ | 4 | 受援体制構築事業 | 災害対応業務を遂行するために不足する資源を分析し、支援を受けた人的・物的資源などを有効に活用するための基本情報、体制、手順等を整えていく。 | AU14 | 防災対策課 | 495 | ・受援対象業務管理データベース運用<br>・協定事業者等と連携した訓練の実施（1回/11月）<br>・受援調整班との業務説明会及びシステム操作訓練の実施（1回/2月） | ・受援対象業務管理データベース運用<br>・事業者等と連携した訓練の実施（1回/年）<br>・受援調整班の訓練の実施（１回/年）<br>・受援調整班マニュアルの改訂 | 継続 |